



アラームの使用方法

この章では、Cisco Unity Connection Serviceability でのアラームの使用方法について説明します。この章の構成は、次のとおりです。

- [アラームの概要 \(P.2-1\)](#)
- [アラーム定義 \(P.2-1\)](#)
- [アラーム定義の表示 \(P.2-2\)](#)
- [参考情報 \(P.2-2\)](#)

アラームの概要

Cisco Unity Connection Serviceability のアラームは、実行時のステータスおよびシステムの状態に関する情報を提供するので、システム関連の問題のトラブルシューティングに役立ちます。たとえば、Cisco Unity Connection Serviceability アラームを使用して、MWI を設定できるポートがあるかどうかを判別できます。アラーム情報には、カタログ、名前、シビラティ、説明、推奨処置、ルーティングリスト、およびパラメータが含まれます。

アラームを収集するには、Real-Time Monitoring Tool (RTMT) で Trace and Log Central オプションを使用します。アラームを表示するには、RTMT で SysLog Viewer を使用します。

追加情報

[P.2-2 の「参考情報」](#) を参照してください。

アラーム定義

アラーム定義は、アラームの意味やアラームからの回復方法など、アラーム メッセージについて説明します。

[Alarm Message Definitions] ページでアラーム情報を参照します。アラームをクリックすると、アラーム情報の説明と推奨処置が [Alarm Information] ページに表示されます。トラブルシューティング用に、定義にはアラーム名、状況、シビラティ、説明、推奨処置、ルーティングリスト、およびパラメータが含まれます。

追加情報

[P.2-2 の「参考情報」](#) を参照してください。

アラーム定義の表示

この項では、アラーム定義を検索して表示する方法を説明します。

アラーム定義を表示する

ステップ 1 Cisco Unity Connection Serviceability で、**[Alarm]** > **[Definitions]** をクリックします。

[Alarm Message Definitions] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 必要なアラーム定義の検索条件を入力し、**[Find]** をクリックします。

すべてのアラーム定義を表示するには、検索条件をブランクのままにして、**[Find]** をクリックします。

定義のリストが表示されます。



(注) アラーム定義のページは複数にわたる場合があります。別のページを選択するには、[Alarm Message Definitions] ウィンドウの下部にあるナビゲーション ボタンをクリックします。ウィンドウに表示されるアラームの数を変更するには、[Rows per Page] ドロップダウン リスト ボックスから別の値を選択します。

ステップ 3 リストで、アラームの詳細を表示したいアラーム定義のハイパーリンクをクリックします。

[Alarm Information] ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 [Alarm Message Definitions] ウィンドウに戻るには、[Related Links] ドロップダウン リスト ボックスから **[Back to Find/List Alarms]** をクリックして、**[Go]** をクリックします。

追加情報

P.2-2 の「参考情報」を参照してください。

参考情報

- [アラームの概要 \(P.2-1\)](#)
- [アラーム定義 \(P.2-1\)](#)
- [アラーム定義の表示 \(P.2-2\)](#)
- *Real-Time Monitoring Tool アドミニストレーション ガイド for Cisco Unity Connection*